

〈解答〉

- ① 1 A ふりむいて B イ  
 2 「例」遭難救助に自信がないので、山に経験の深い加島の協力を得たい (29字)  
 3 E

配点 ① 1 A、2は各3点、他は各2点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 「それは、こうして商売していて店を空けることはむずかしいでしょうし、それに加島さんは、いま……。」という永松の言葉に対し、加島はむっとしたようにふりむいて、「いまどうしたっていうんだね。」という言葉を返しており、それまでの加島が背中越しに「むずかしいな」と言ったことがわかる。背中越しに言う加島の様子からは、イ「永松の話にあまり乗り気ではない」ことが読みとれる。
- 2 清水村からの電話に対して、永松は山に経験の深い加島をつれていくと答えている。それは永松自身、遭難救助に全く自信がなかったからである。遭難救助に自信のない永松は、加島の営む自転車店を訪れ、山に経験の深い加島の協力を得ようとしたのである。
- 3 ア「自分を批判する二人の話」、イ「病院にいるわが子と妻にいますぐにでも会いたい」、ウ「二人の話を落ち着いて聞きたい」、オ「もう二人の力になれないという現実」という部分がそれぞれ適当ではない。